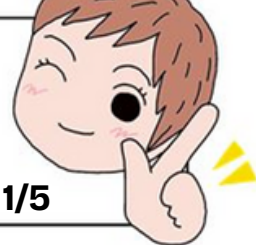




道医労連mailニュース



〒060-0909 札幌市東区北9条東1丁目労働センター1F ☎011-721-6178 📠011-723-0791

2025/11/5

道内各地の 国会議員事務所を 訪問しました！

函館地区では立憲民主党の逢坂誠二議員と面会し、賛同署名と個人署名の紹介議員となってもらえるよう逢坂議員へ申入れを行いました。

道南勤医労執行委員長の川村さんから「タスクシフトが進められているが人員不足で現場が大変になっており患者のためにならないと感じている。人員を増やすためにも収益を黒字にできるだけ報酬改定が必要だ」と訴えました。

現場でリハビリ技士として働いている若原さんからは「夜勤が月4回までという協定が守られていない。夜勤体制を安定させるためにも人材確保が必要で、そのために診療報酬の大幅なプラス改定が必要」と訴えました。

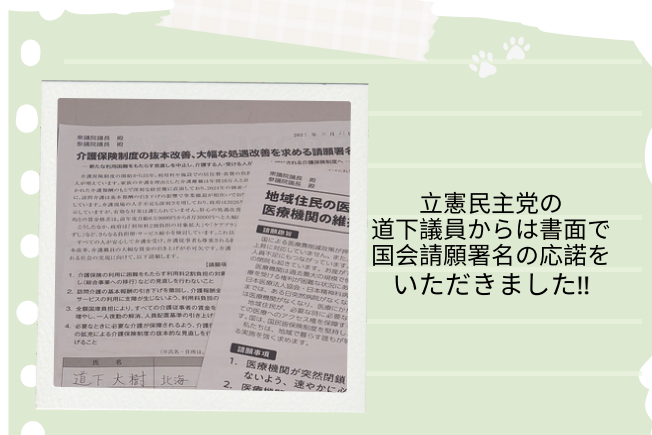
逢坂議員からは、「この状況は多くの医療機関に当てはまる。コロナ以降は患者が減り、物価高で支出ばかり増えている。職員の賃金を上げるにも診療報酬が上がらず賃金できないことで退職者が増えるという悪循環となっている。単純に報酬を増やすと患者負担が増えるというリスクもあるので、個々病院の経営状況に応じて現金給付を行うなどの方法も検討する必要がある。また、薬価も安く抑えられてきていることも問題と感じている。年々薬価が下がっている影響で人件費に回せず、薬品の検査が乱雑になっている実態があることから、薬価についても改善を求める必要がある」と回答しました。



札幌地区では、道央周辺地域から選出された国会議員事務所に訪問しました。

立憲民主党の神谷裕議員の岩見沢事務所への訪問は「介護に笑顔を！北海道連絡会」とコラボして取り組みました。現場で働くケアマネジャーから「ケアマネジャーは周囲からの理解不足があり、何でも屋のような形で本来業務以外の対応も求められて多忙を極めている。その一方で賃金は介護職員より低く業務内容に見合っていない。ケアマネジャーの処遇改善に力を尽くしてほしい」と訴えました。

神谷議員はケアマネジャーの状況だけでなくヘルパー事業所の閉鎖が相次ぎ不足している地域がある実態などにも耳を傾け、国会請願署名の紹介議員の応諾をいただきました!!



立憲民主党の
道下議員からは書面で
国会請願署名の応諾を
いただきました!!

また、立憲民主党の大葉紅葉議員の小樽事務所への訪問も「介護に笑顔を！北海道連絡会」のメンバーと訪問しましたが議員本人が不在で秘書対応となり、メンバーからはケア労働者の処遇改善と大幅増員、介護サービスの安定供給を訴えました。対応いただいた秘書からも「現在の介護情勢には危機感を持っている」と話されていました。

立憲民主党の山岡達丸議員の苫小牧事務所への訪問は、道医労連の濱谷委員長と勤医協苫小牧病院の島垣事務長の2名が訪問し、労使共闘による要請行動に取り組みました。

道内各地で要請行動に取り組んで、私たちの譲れない要求に賛同してくれる国会議員を1名でも増やし、大幅な処遇改善と人材確保を前進させましょう!!



濱谷委員長と勤医協苫小牧病院の島垣事務長